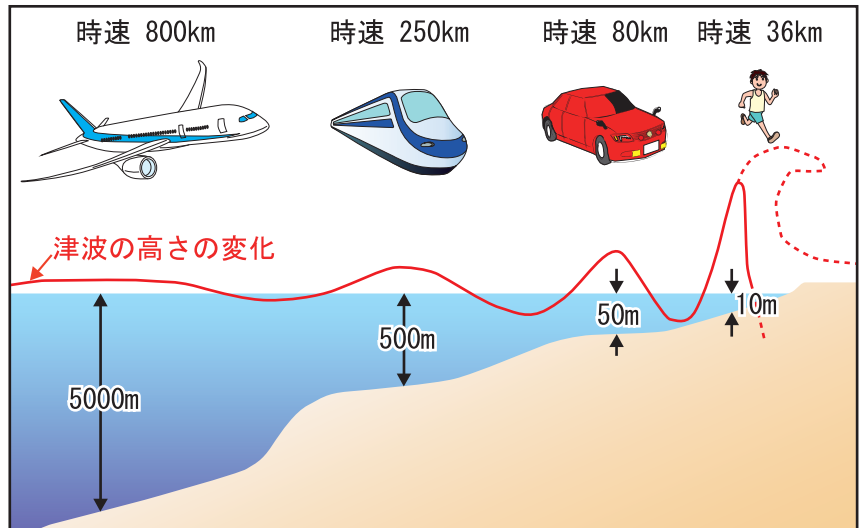


# 津波から命を守るために

## ◆ 津波の速さは？

津波は、海が深いほど速く伝わる性質があり、沖合ではジェット機に匹敵する速さで伝わります。逆に、水深が浅くなるほど速度が遅くなるため、津波が陸地に近づくにつれ後から来る波が前の津波に追いつき、波高が高くなります。

水深が浅いところで遅くなるといっても、オリンピックの短距離走選手なみの速さで陸上に押し寄せるので、普通の人々が走って逃げ切れるものではありません。津波から命を守るためには、津波が海岸にやってくるのを見てから避難を始めたのでは間に合わないのです。海岸付近で地震の揺れを感じたら、または、津波警報が発表されたら、実際に津波が見えなくても、速やかに避難しましょう。



## ～ ⚠ 津波のこんなところに注意！！ ～

**津波の高さは想像を超える！**  
津波の高さは海岸の地形などに影響されて大きく変化します。V字やU字型の湾や港の奥では、極端に津波の高さが大きくなります。

**津波の前に潮が引くとは限らない！**  
「津波が来る前に潮が引く」と昔からよく言われますが、いつもそうとは限りません。地震の起こり方や震源付近の地形によっては、いきなり大きな津波が襲ってくることもあります。

**津波は繰り返し押し寄せる！**  
津波は、2回、3回と何度も繰り返し襲ってきます。1回目で安心しないこと！津波注意報や津波警報が解除されるまで海岸に近づいてはいけません。

## ◆ 津波注意報、津波警報とは？

気象庁により、地震が発生した時には地震の規模や位置をすぐに推定し、予想される津波の高さを地震が発生してから約3分を目標に、「大津波警報」、「津波警報」、「津波注意報」が発表されます。

この情報は、テレビやラジオ等のマスコミや携帯電話等を通じて伝達されます。

	予測される津波の高さ	
	巨大地震の場合の表現	数値での発表（発表基準）
大津波警報	巨大	10m超（10m～）
		10m（5m～10m）
		5m（3m～5m）
津波警報	高い	3m（1m～3m）
津波注意報	表記しない	1m（20cm～1m）

### 津波警報・注意報と避難のポイント

- 震源が陸地に近いと津波警報が津波の襲来間に間に合わないことがあります。強い揺れや弱くても長い揺れがあったらすぐに避難を開始しましょう。
- 津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしましょう。
- 津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。
- 津波は長い時間繰り返し襲ってきます。津波警報が解除されるまでは、避難を続けましょう。
- 津波の高さは海岸の地形等に影響されて大きく変化します。V字やU字型の湾や港の奥では、極端に津波の高さが大きくなります。（気象庁のホームページより）